



公益社団法人北海道看護協会

さっぽろ 第1支部だより

Vol.69/2021.12

Contents

- P2 看護師職能講演会報告
働き続けられる職場づくり研修会報告
- P3 札幌4支部合同看護管理者懇談会報告
- P4 第2回 医療安全交流会報告
- P5 市民フォーラム報告
令和3年度 札幌第1支部大会・講演会のお知らせ
- P6 募集、入会、ほっとひといきコーナー

令和3年度 札幌第1支部 活動報告

看護師職能講演会 報告

令和3年9月18日、「ご遺体の尊厳とグリーフケア」をテーマに、田村麻由美先生を講師にお迎えし講演会を行いました。前年度、同じテーマで実施した後のアンケートで高評価を頂きましたので、今年度も同テーマでお願いしました。前年度はコロナ禍ではありましたが、対面での講演会が行えましたが、今年度は看護師職能委員会、初のWeb研修となりました。田村先生に許可を頂き、職能委員長がWeb研修の手配を全面的に行いました。Web研修に参加したことはありますが、主催は初めてであり、わからぬことだらけでしたが、無事に講演会を終えること

ができました。

私たち看護師は、患者さんをお看取りし、お送りすることができます。旅立つ患者さんの尊厳を保ち、旅立つ患者さんと向き合うご家族の思いを大切に考えながら、患者さんらしい状態でいられますようにと、エンゼルケアを行います。その際に注意しなければならないことや、ご家族のお気持ちに寄り添ったケアを、田村先生から教えていただきました。最期の時、悲しみの中で少しでも穏やかにご家族が患者さんをお送りすることができますよう、これからこの看護にこの学びを活かしていきたいと思います。

働き続けられる職場づくり研修会 報告

令和3年10月23日、札幌第1支部 働き続けられる職場づくり研修会を開催しました。こことからだのカウンセリングルーム smacc 代表 佐高葵月代先生をお招きして「心が楽になる！～アドラー心理学の勇気づけ～」と題し、ご講演いただきました。

アドラー心理学から「勇気づけ」「感情のスイッチを切り替える」「共同体感覚」について講演され、特に印象的だったのが、自分自身に対しての「勇気づけ」でした。自分自身の勇気づけをすることで、自分とスタッフを信じる勇気がもて、結果的にスタッフの成長につながるという先生の講演を聞き、とても学びになりました。また、マインドフルネスに対して意識的に振り返ることの重要性についても学びました。

今年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の懸念から、Zoomを使用したオンライン研修という形での開催となりました。スライドは見やすく音声も聞き取りやすかったため、より集中して講演を聞くことができました。

本講演でのキーワード

- 調身 (ちょうしん)
- 調息 (ちょうそく)
- 調心 (ちょうしん)



札幌4支部合同 看護管理者懇談会 報告

令和3年10月16日、北海道看護協会札幌4支部合同による看護管理者懇談会が開催されました。今年度は当支部が企画・運営の担当でした。昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中止しましたが、今年度は感染予防対策のため、初めてのオンライン開催としました。参加者は、第1部参加175名、第2部参加150名、グループワーク参加94名と多くの会員の方々にご参加いただきました。

午前の第1部は、北海道看護協会 上田順子会長による「看護の動向」のご講演でした。

団塊の世代が後期高齢者となる2025年問題はすぐそこまで迫っている現状において、高齢者数がピークとなる2040年を見据え、誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現のために、看護職としての課題や必要な取り組みについて、「保険・医療・福祉及び看護の動向」「養成・確保定着」「キャリア開発」の視点で講義がありました。これから加速していく少子・超高齢社会において、自施設で取り組むべき課題や社会から求められている役割は何であるかを改めて考える機会となりました。

午後の第2部は、ノトコード代表取締役 平林慶史氏を講師にお招きし「変化に対応できる看護組織のマネジメント」～困り合い、支え合える「学習する組織」～をテーマにしたご講演でした。

病棟内で起きた「困った」事象を、個人ではなく組織の困りごととして取り組んでいく重要性、また「困りごと」を細分化していくことで、より詳細な原因にたどりつき、実現・実行可能な対策を導き出すことができることを学びました。

グループワークは、ブレイクアウト機能を使いましたが、「見識が広がった」「一番面白かった」「管理者の悩みの多くのことを聞きたかった」等、肯定的な意見が多く、情報交換の場になっていました。

私達看護職は、日々変化する環境や状況の中で直面する課題に対処し適応することが求められています。「困りごと」に対して組織全体で柔軟性をもち、解決に向け取り組んでいけるよう、今回の講義を参考に日々の看護管理に活かしていきたいと感じた研修でした。



変化に対応できる 看護組織のマネジメント

困り合い、支え合える「学習する組織」へ

2021 Autumn : © notocord Corp. & Yoshifumi Hirabayashi



第2回 医療安全交流会 報告

〈対面研修+オンライン〉+動画配信研修

令和3年11月6日、第2回医療安全交流会が、北海道大学の講義棟にて対面研修とオンライン研修を併用したハイフレックス研修という形で開催されました。参加者は対面研修が6名、オンライン研修が5名の計11名。「チーム医療とノンテクニカルスキル」をテーマに、組織変革屋と呼ばれるメディカルアートディレクター佐藤和弘氏を講師に招き、講義とグループワークを行いながらすすめられました。所要5時間という長時間の研修でしたが、終始和やかな雰囲気で進行し時間の長さをあまり感じることのないものでした。

講義では、医療スキルにはテクニカルスキル（専門技術）とノンテクニカルスキル（非専門技術）があるということが説明され、今回はノンテクニカルスキル（考える力、伝える力、決める力、動かす力）を用いてチームで問題解決をするという技術を学びました。特に多職種とチームの事を考えていくためには、どの職種でも理解できる共通言語が必要であることを学び、今までビッグワード（抽象的な言い方）

を日常的に使用しがちだったことに気づかされました。看護職は多職種との協働も多く、共通理解が本当にできていたのかと考えさせられる場面もありました。

研修の最後に、オンライン研修の参加者の顔が公開されず、チャットでの会話となっていたため、対面研修の参加者の中には一緒に研修参加している感じがあまりしなかった、講師の先生がどちらのグループに話しているのか分かりにくかったとの意見も聞かれました。

今後もこののような形式の研修が増えていく事が予想される中、参加する私たちもオンライン研修やミーティングなどに慣れ、積極的な研修参加に繋げられたらと感じています。医療安全特別委員会の皆さん、研修企画から運営まで大変だったと思います。対面研修ではコロナ対策も万全に行われており安心して参加することができました。ありがとうございました。



チーム医療とノンテクニカルスキル



今年度はたくさんのみなさまにご参加いただきましたことを深く感謝申し上げます。

次年度も様々な企画を検討しておりますので、ご参加いただけますようよろしくお願ひいたします。

第3弾

市民フォーラム 報告

令和3年11月27日、札幌第1支部主催の市民フォーラム「ワイワイガヤガヤ人生会議」～自分らしい最期の迎え方～を開催しました。

超高齢社会の到来を見据えて「地域包括ケアシステム」の構築が推進されている中、私たちが住民の「生きる」を支え、その人が望むケアや医療を提供するためには、住民と「生き方・自分らしい最期の迎え方」をともに話し合う機会を持つことが不可欠と考え、札幌第1支部では3年前より、このような市民フォーラムを開催しています。

今年度は、対面＋オンラインによるハイブリッド開催とし、講師は昨年度に引き続き、僧侶でもあり臨床宗教師として活躍されている米本智昭先生をお招きしました。

講演では、全人的な苦しみと痛み（トータルペイン）を感じている患者様の、特に靈的苦痛（スピリチュアルペイン）を理解するために、患者様の語りを聞くことの大切さと、自らが相手の領域に入り相手の世界観を体験すること、色眼鏡を通して相手を認

識しないよう、自分自身のことを見つめ理解することが重要であると話されました。また、生と死は陸続きであり、死は誰にでもいつか平等に訪れるためタブー視せず、継続した人生会議を通して揺れ動く思いを語り合うことが大切であると話され、会場は感動に包まれました。

講演後は、グループワークが行われ、会場では市民の方々がそれぞれの思いを伝え合い受け止め合い、オンライン参加の方々は、米本先生との直接対話もできました。

これからも支部として、住民が住み慣れた地域で望むケアを受けながら自分らしく生き抜くことができる地域づくりに貢献したいと考えています。



お知らせ

令和3年度 札幌第1支部大会・講演会

開催日 令和4年2月19日(土)

時 間 13:00～16:15

会 場 札幌パークホテル

3階 パークホール

札幌市中央区南10条西3丁目1-1

札幌第1支部講演会（支部大会同時開催）

テーマ 「成長する看護職・成長する組織」

講 師 北海道大学大学院 経済学研究院 教授

まつお まこと
松尾 瞳 先生

★プログラム★

受付開始	12:30～
オリエンテーション	12:50～
講 演 会	13:00～15:00
休 憩	15:00～15:15
支部大会	15:15～16:15

今年度は集合開催となります。新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、外出自粛などの措置があった場合においても、支部大会が成立するよう「議決権行使書」にて議決権の行使ができるように、支部大会出席予定者全員から開催日前に「議決権行使書」を徴収いたします。ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

“みんなで創る支部だより”にご協力を！

今年度も「さっぽろ第1支部だより」は、会員の皆様の声を反映させていただき、
支部の活性化に寄与すると共に、会員の情報源としての役割を果たしていきたいと考えています。

募集

67号からリニューアルした皆さまの
“さっぽろ第1支部だより”ですが、支部事業
の広報だけでなく、幅広く情報を発信できる会員
参加型を目指しております。ぜひ、ご意見・ご要望・ご
感想などをお寄せください。お待ちしております。

【募集規定】

- ◎施設名・部署名(個人会員は住所)、氏名、匿名での掲載を希望される方は“ペンネーム”もお願いします。
- ◎写真は、プリントの場合はL版以上、デジタルカメラの場合は画像をご提出ください。(プリント写真は返却いたしません)
- ◎応募いただいた個人情報は、広報誌作成以外に使用することはありません。

【投稿・お問い合わせ先】

札幌第1支部広報委員会

koho@sapporo-1.jp



入会

入会のご案内施設内やご友人などで
入会されていない方がおられましたら、ぜひ
入会をお勧め願います。

【変更の手続きについて】

勤務先の変更や、個人会員の方がお引越しされた場合は、変更手続きが必要です。退職された場合、変更手続きすることで個人会員の登録となり、それまで職場に送られていました研修案内などを、ご自宅へお送りします(変更手続きがない場合には、郵便物をお届けできません)。また、施設代表者が代わられた場合にも、変更手続きをお願いします。なお、変更手続きは数週間かかりますので、お早目のご連絡をお願いします。

【入会申込・変更手続きなどの問合せ先】

公益社団法人北海道看護協会 総務部総務課

TEL 011-863-6731

★表紙の写真★

季節の風景・看護の風景・ご自身の作品
(絵や絵手紙など)、心が和むもの・癒されるもの
など何でもOKです。

★チーム活動の紹介・認定看護師紹介★

自薦他薦問いません。(写真数枚、本文400字程度)

★ほっとひといきコーナー★

お気に入りの店、ハマっている美味しいもの、旅行の思い出、癒しのペット、ストレス解消法、禁煙成功秘話、職場の取り組み、ちょっとした疑問(みんなに聞かれる)など…。内容は仕事のこと・仕事以外のこと、何でもOKです。「ほっとひといきコーナー」でみなさんの様々な情報を交換していきましょう!(写真がある場合は1~2枚、本文30~200字程度)



ほっとひといきコーナー

趣味の時間は仕事の活力になりますが、
趣味を充実させる、新しいことに挑戦するなんて夢のまた夢と
いう日々を送ってきた方も多いのではないでしょうか。家と職場
の往復ばかりだとストレスが溜まってしまいますよね。

そんな時にオススメしたいのが、オンラインでできる大人の
習い事です。フィットネス、英会話、楽器、料理など思っていた
よりもたくさんの習い事があります。有名講師に教えてもらえる、
移動時間のカット、自宅でできる安心感などメリットもたくさん!
写真は、オンラインでピアノを習っている様子です。

まだまだ寒い季節が続きます。春に向けて安心な環境でじ
ぶん時間を充実させてみませんか?



編集後記

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、企画していた研修会などが次々と中止になりました。しかし、今年度からは各委員会がコロナ禍でも実現可能な方法を検討しWebによる研修・講演会が数多く開催されました。今回の広報誌ではその活動を多数掲載しています。

さらに今年度からは広報誌のペーパーレス化を実現し、北海道看護協会HPによる閲覧が可能となりました。このことにより、会員のみならずより多くの皆さまへ支部の活動の様子をお届けできるようになりました。これからも支部の活動に興味をもってもらえるよう会員の皆様の声や、支部の活動報告を活発に発信する広報誌の発行を目指していきたいと思います。

記／広報委員 田中

広報委員

佐藤 知子 札幌南三条病院

黒田 佳恵 札幌厚生病院

田中 京子 平成会病院

佐藤 達也 北海道循環器病院